＼子どもたちの声を学校づくりへ！／

めぐろ学校教育プラン改定に向けた取組

問い合わせ　教育政策課　☎03−5722−9432　FAX 03−5722−9332

令和９年３月の「めぐろ学校教育プラン」改定に子どもたちの意見を生かすため、令和８年度、目黒区人権教育推進校（※1）である宮前小学校と第十中学校でワークショップを実施しました。この取組は、子どもたちが自分の言葉で意見を発信し、学校や教育委員会などの大人がその声や背景にある思いをしっかり受け止め、今後の学校づくりや教育施策の検討につなげることを目的としています。

ワークショップでは、子どもたちの意見を表明する権利を大切にし、自分たちにとって身近な学校について互いの意見を聴き合いながら対話し、それぞれの思いや考えを言葉にして伝えました。

※1　目黒区人権教育推進校…人権教育に関する実践研究を行い、その成果を区内の学校へ広げる役割を担う学校（２校は、子どもの権利について重点を置いて取り組んでいます。）

ワークショップの様子





宮前小学校

宮前小学校の６年生は、自分たちにとって身近な学校について考えました。

ワークシートやグループでの対話を通して、「好き」や「得意」を伸ばせる学校、お互いの意見を大切にできる学校について意見を出し合い、日頃感じていることや願いを自分の言葉で伝えました。

第十中学校

第十中学校の２年生は、学習、人間関係、行事・部活動など、日々の学校生活について、考えていることを整理しました。

一人ひとり感じていることやよりよくしたいことをワークシートに記入し、カードを使って対話をしながら意見を出し合いました。







プラン改定までの流れ

ワークショップの実施 → 改定素案 → パブリックコメントの実施 → プラン改定





意見の集約

生徒会（第十中学校）

第十中学校生徒会役員が、小学校・中学校から寄せられた意見を集約するために話し合いました。

共感したことを確かめながら、意見の背景にある思いや考えを掘り下げ、「理想・現状・原因・課題」の視点で思いや考えを整理し、学校や教育長に伝える内容をまとめました。

教育長への報告

宮前小学校の代表児童と第十中学校生徒会役員が、教育長に意見を伝えました。
報告書を渡すだけでなく、ワークショップで話し合った内容や思いを自分たちの言葉で説明しました。

子どもたちの声を今後の学校づくりに生かしていくための貴重な機会となりました。







今後の流れ

ワークショップで寄せられた子どもたちの意見を反映した、「めぐろ学校教育プラン」改定素案を公表し、現在パブリックコメントを募集しています。

いただいたご意見も踏まえながら、令和９年３月の改定に向けて検討を進めていきます。

改定素案については、次ページでご紹介しています。